

## 中国・四国支部がAED研修

# 32人が汗だくで学ぶ 事前準備など細かい助言も

日遊協中国・四国支部(後藤信行支部長)は12月7日、広島市のホテルセンチューリー21広島で、AED(自動体外式除細動器)の使い方を中心とした救急救命研修会を開き、日遊協ボランティア派遣隊中国・四国支部隊員ら32人が参加した。

研修は日本赤十字社広島県支部から派遣された男女2人の指導員が講師となり、約2時間行われた。参加者たちは16体の人形を相手に心臓マッサージの方法、AEDの使い方と注意点などを汗だくで学んだ。最後にお客様が店内で倒れ



講師の指導に従ってAEDの講習に熱が入る

たと想定して、通報してから救急車が駆けつけるまでの間、社員たちがどんな役割でどう対応すべきか救急措置のシミュレーションを行った。

講師からは「お店にAEDがあるなら、そばにぜひ大きな毛布かタオルを常備しておいてほしい。倒れた人にAEDを使うとき衆人環視の中で胸をはだけなければならぬから、毛布やタオルを広げて隠してあげる配慮が必要です。それに、大きな毛布はいざというとき担架代わりにもなる。また、出血や吐しゃ物に触れないよう、お店の人の自衛のためにゴム手袋も常備したほうがいい」とキメ細かい助言があった。

### 「実地には勇気がいります」

広島県警警備部災害対策官の講話の後、日遊協ボランティア派遣隊の白石良二総隊長(理事)が挨拶し、「私もAEDの講習を3回受けましたが、実地には勇気がい



挨拶する白石ボランティア派遣隊総隊長

いるというのが感想です。電車やバスでお年寄りが乗ってきたら、席を譲らなければだめだと誰もが思います。でも声をかける勇気がないと下を向いたままになってしまいます。そういうものなんです。ボランティアは奉仕の心を持っていないと、なかなか一歩前に進めません。今日学んだことを、ふだんの生活の中やお店でお客様が倒れたときなどに勇気を持って活用していただきたい。このような講習会も積極的に開いて、中国・四国支部を活性化してください」と述べた。

### 障がい者63人が楽しむ プロバグループが招待

広島市を中心にパチンコ、ゲーム店等の娯楽施設を展開するプロバグループ(平本直樹代表)は12月14日、複合施設ワイエラ・ティ・プロバ(同市安佐南区)で「障がい者ふれあいフェスティバル2010」を開き、体に障がいのある方63人

が招待された。

プロバグループは「ホスピタリティ企業No.1」を目標に掲げて日々の生活の中で「遊び」を通じてお客様に活力、元氣、感動をさせていただけるよう取り組んでおり、このフェスティバルもその一環。NPO法人フォルトツァ・プロバとプロバグループが主催し、今回で15回目となる。この日は共同作業所全国連絡会広島県支部傘下の7作業所から引率者19人を含めて82人が招待され、午後1時から約4時間、ふだん触れる機会が少ないパチンコやゲーム機、さらにカラオケやボーリングを通じて参加者同士で交流し、楽しい時を過ごした。プロバグループからは、NPO法人や今期の新入社員など約20人が運営スタッフとして世話を焼いた。



にぎやかにオープニングセレモニー

## セキュリティ対策委員会

# キャンペーンを継続 攻略法詐欺で 協力雑誌6社

第50回セキュリティ対策委員会  
会 委員長・山田久雄(日遊協副会長)

は12月22日、日遊協本部会議室で開かれた。ファン雑誌6社の協力で行なっている攻略法詐欺撲滅キャンペーンは当初、10年8月号から約半年間行なうことになっていたが、12月16日に行われたファン雑誌各社との話し合いの結果、継続することが報告された。

使用済み遊技機の動向を協議する参考資料として、日電協側委員からWEB上で展開しているパチンコ・パチスロ中古機販売業者の内60業者について独自調査したデータが提出された。

## 日遊協にも感謝状

### 千葉県警、攻略法詐欺捜査で

千葉県警から日遊協深谷会長宛てに、攻略法詐欺捜査の理解と協力に対する感謝状が12月20日付けで届いた。千葉、青森、静岡、高知の4県警が全日遊連の捜査協力で東京・新宿のパチンコ情報会社

攻略法詐欺撲滅キャンペーンなどを協議したセキュリティ対策委員会



を摘発、被疑者22人を逮捕した攻略法詐欺事件に関して、日遊協に対しても「今後とも、ばちんこ業界の健全な発展のための取り組みはもとより、広く国民がいわゆる『攻略法詐欺』等の被害に遭わないための啓発活動を推進するよう」要望している。

全日遊連に対してはさる10月15日、千葉県警から捜査協力への感謝状が授与されている。(本誌12月号で既報)

## 絵手紙って簡単!



あなたの思いを  
絵と言葉で

## エッセーの 投稿もよろしく!

## 第1回パチンコ・パチスロ

## エッセー 絵手紙

## コンクール応募要項

テーマ (一般、業界ともに同じ)

「パチンコと私」「パチスロと私」「未来のパチンコワールド」

- エッセー、絵手紙ともに、テーマの中から自由に選んで応募して下さい。
- エッセーは2000字以内でまとめて、なるべく電子メールで送稿してください。
- 絵手紙は市販のハガキに絵と文字で作成してください。
- 住所・氏名・年齢・職業・電話番号(携帯も可)を明記して、電子メールまたは下記事務局まで封書でお送りください。

募集期間 2010年11月1日(月)～2011年2月28日(月)

発表 2011年6月9日(日遊協ホームページ)

エッセー 最優秀賞 旅行券30万円分1人 優秀賞 旅行券10万円分2人

絵手紙 最優秀賞 旅行券15万円分1人 優秀賞 旅行券5万円分2人

その他入賞多数(エッセー佳作2万円分10人、絵手紙佳作1万円分10人)

### 応募先及びお問い合わせ先

E-mail : bosyu@nichiyukyo.or.jp

社団法人日本遊技関連事業協会コンクール事務局

〒104-0033 東京都中央区新川2-12-15 ヒューリック八丁堀ビル2F

TEL 03-3553-4333 FAX 03-3553-4334

http://www.nichiyukyo.or.jp

応募された個人情報については、個人情報に関して摘要される法令や規範を遵守し、コンクールの目的以外には一切使用致しません。

主催 社団法人日本遊技関連事業協会 協賛 全日本遊技事業協同組合連合会・  
日本遊技機工業組合・日本電動式遊技機工業協同組合・全国遊技機商業協同組合連合会・  
回胴式遊技機商業協同組合・遊技場自動サービス機工業会

# 経営統合し持株会社

## 日本ゲームカード(株)×(株)ジョイコシステムズ

遊技用プリペイドカードシステム事業の日本ゲームカード(株)(本社・東京都渋谷区)と(株)ジョイコシステムズ(本社・東京都台東区)は2010年12月10日、それぞれ取締役会を開き、株式移転により経営統合する旨の共同株式移転契約を締結するとともに、株式移転計画書を共同で作成したことを発表した。具体的には、11年1月21日に開催予定の両社それぞれの株主総会及び関係当局の承認を前提として、本株式移転の方法により4月1日(予定)に両社の完全親会社となる共同持株会社「(株)ゲームカード・ジョイコホールディングス」を設立する。日本ゲームカードの筆頭株主、(株)SANKYOは本株式移転に賛同している。

日本ゲームカードは1989年に設立された、パチンコ用プリペイドカードシステムのパイオニア。03年に日本アドバンスカードシステム(株)と、07年に日本レジャーカードシステム(株)とそれぞれ経営統

合し、その間の06年にはJASDAQ証券取引所(現・大阪証券取引所JASDAQ)に上場を果たした。しかし、ホール数が減少傾向の中で競合他社との競争は熾烈化し、長期的に厳しい状況が予想されている。一方、ジョイコシステムズは01年に設立された、パチンコ用プリペイドカードシステムとしては最後発の参入企業。参入時には業界全体の規模が縮小しつつあった上、新商品の市場投入も競合他社の遅れをとっていたために、最近では加盟店舗数を減らす状況が続いていた。今回の経営統合の目的は、両社の経営資源を集中させ、システムの特徴を補完する体制を構築することにより、企業価値の最大化を図ることとしている。

共同持株会社「(株)ゲームカード・ジョイコホールディングス」の取締役会長には石橋保彦氏(株)ジョイコシステムズ取締役会長、(株)平和代表取締役社長、代表取締役社長には山田明氏(日本ゲームカード(株)代表

取締役社長)が就任する予定。

### 不正対策室会議

#### 誤解対策などを討議

不正対策室会議(室長・伊東愼吾日遊協常務理事)は12月20日、日遊協本部会議室で開かれPSIO(遊技産業不正対策情報機構)の入力情報が報告され、ゴト、不正情報について検討した。PSIOの11月は、オープンネット(業界

一般からの不正情報)で599件が入力され、昨年同期より47件増えている。パソコンからは減り、携帯からの入力が増える傾向が続いている。ゴトについては、CR

ユニットゴトの増加にたいする対策状況、ホールのゴトに対する対応などが話し合われた。不正情報では、誤解を招く恐れのあるホールの措置などについて報告、討議した。

### 貯玉補償基金理事会

#### 「承認要件」の改正決める

##### センタ事業要望事業者で

一般社団法人貯玉補償基金(代表理事・深谷友尋日遊協会長)は12月8日、日遊協本部会議室で第29回定例理事会を開き3つの議案を審議した。第1号議案として「貯

第3議案「運用規定の一部改正」についても承認した。

報告として、加盟状況、資金運用状況、運用継続、補償上限超会員が説明され、2011年版ポスター、2011年加盟店確認用バーナー提供についても了承された。

玉補償事業等業務受託要望事業者に関する承認要件等整理」について審議され、

推薦状、資格要件充足の申告など7つの追加・改正事項を承認した。続いて第2議案「業務委託に関する規約の一部改正」、

貯玉/貯メダル/再プレー  
楽しむための安心・安全

当店は、貯玉補償基金加盟店です。

補償には上限があります  
会員一人当たり、それぞれ貯玉20万円、貯メダル5万円です。  
補償は賞品(カタログ掲載商品または一般雑貨等)で行われます。

貯玉/貯メダルの補償制度とは?  
貯玉/貯メダルのデータ管理

一般社団法人貯玉補償基金  
http://www.chodama.or.jp/

2011

## 第4回の4コマを発表 ホール5団体のエコポスター

ホール5団体会議は、省エネ活動・エコホール宣言を進める中で今春から4コマ漫画形式による省エネのノウハウ集ポスターを業界誌、広報誌に掲載しているが、12月、第4回の4コマ漫画ポスターを発表した。今回のポスターは1〜3月向けで、「(ホールで)暖房・

冷房の混在運転はしないで!!」適温がお客様にも環境にもお店にも優しい」と訴えている。

冬場のホールでは、出入口周辺はドアの頻繁な開閉で寒いため暖房にし、一方、出入口から離れた奥はお客様の熱気と機械設備の放熱で暑い。そのため冷房にするという混在運転がよく見られる。しかし、暖房と冷房のエアコンを混在させると、暖房は冷房の冷気を感じし、冷房は暖房の熱気を感じしてお互

いに出力を上げて運転してしまうため電気使用量がふえる。送風を活用してホールの空気を循環させればかなり温度ムラが少なくなり、快適な遊技環境と省エネの両立が出来る」とアドバイスしている。

## マナーポスター第4弾

### 遊技球製造協会が公開

一般社団法人遊技球製造協会は「遊技球・メダルの持ち出し・持ち込み禁止」をテーマとしたマナ

ーポスターの第4弾を制作、11月30日、同協会ホームページで公開した。今回は「レフェリー」と「エラーカード」の2種類で、「ルール」をテーマに公平・公明を強調した。ダウンロードして活用してほしい」と、同協会では全国の店舗に呼びかけている。過去3回のポスターについても、ダウンロードが可能となっている。

同協会のホームページは <http://www.pach-ball.com/>

## 暖房・冷房の混在運転はしないで!! ～適温がお客様にも環境にもお店にも優しい!!～

### 順番にやってみよう!

- ① ホール内に温度計を設置してね!
- ② 温度計を基準に25℃～26℃で調節してね!
- ③ 温度を1℃下げる前に風量をUPしてね!(10%の増)
- ④ 風が循環する様に風向きを調節してね!
- ⑤ 1～2週間に1回はエアコンフィルターを掃除してね!
- ⑥ 年1回は室外機のホコリ取りもしてね!



暖房も送風機能が重要! 送風も活用してホール全体で温度管理を! 同じ室内で同時に 暖房、冷房を使うのは NG ですよ!

**解説1 [冬場のホールのよくある光景(その1)]**  
冬場でもエアコンの欠かせないホール。特に出入口周辺では寒いという事がよくあります。特に足元が冷えてしまいお客様の要望で、当然暖房を強めて温度を調整するなんて事はホールの現場でよくある光景ですね。

**解説2 [冬場のホールのよくある光景(その2)]**  
反対に入口から離れたホールの奥は、お客様の熱気、台や設備からの熱がこもりやすく、暑いという事がよくあります。お客様の要望で当然冷房を強めて温度を調整する事もホールの現場ではよくある光景ですね。

**解説3 [暖房と冷房の混在はムダが多い!?]**  
さてここで問題です。冷房と暖房のエアコンを混在させると、答えはお互いのエアコンがぶつかり合ってしまう電気使用量が増え、当然出力を上げて運転します。冷房でも暖房の温かい空気を感知して出力を上げて運転をしてしまいます。皆さんのお店ではこんな事していませんか?

**解説4 [快適な遊技環境と省エネの両立]**  
送風を活用する事で、ホールの空気を循環させると、かなり温度ムラを少なく出来ます。室温管理を元に、送風と風量で調整しましょう。冷房と送風。暖房と送風といった組み合わせで調整してみましょう。これで快適な遊技環境と省エネの両立が出来ますね。

詳しくは全日遊連HPを見てね! [http://eco\\_hall5.zennichiyuren.or.jp/](http://eco_hall5.zennichiyuren.or.jp/)

## ルールを守ろう!

玉・メダルの持ち出し  
他店の玉・メダルの持ち込みは  
法律で禁じられています。

一般社団法人 遊技球製造協会



# 稼働はパチンコ、パチスロ 「4円」はまったく低調に

(株)エンタテインメントビジネス総研はこのほど、2010年第3四半期(9月時点)のパチンコ景気動向指数(DI)調査結果を発表した。これによると、全般的業況感はややマイナス・8と前回調査(6月時点)よりさらに3ポイント悪化した。3か月後の見通しもマイナス37・4と依然低迷の予測となっている。

事業規模別にみると、とくに大規模事業者(11店舗以上)がマイナス42・9で前回より29・1ポイントも数値を下げた。小規模事業者(1~3店舗)はマイナス46・4、中規模事業者(4~10店舗)はマイナス58・3と引き続き低迷感がある。地域別では、北海道・東北が前回調査のプラス・マイナス0からマイナス53・3へ大幅ダウンしたのが目立つ。中部・北陸、近畿、中国・四国・九州はマイナス圏ながら改善傾向が見られた。

パチンコは昨年9月時点以降マイナス圏で低迷していたが、今回調査では32・2ポイント回復し、プラス圏にあと少しのマイナス1・6となった。一方、前回調査でプラス圏(28・8)にあったパチスロは34・4ポイント急降下しマイナス5・6だった。昨年12月時点から、パチンコの「4円貸玉」と「低貸玉」別で調べているが、「4円貸玉」は終始マイナス圏に

あり、今回もマイナス63・9と降下を続けている。一方、「低貸玉」はずっとプラス圏にあり、今回も27・1と依然好調だった。「4円貸玉」については、調査対象店舗の66・4%が「悪い」と回答し、「良い」は2・5%だった。規模別では中規模事業者で「良い」はゼロ、「悪い」は67・3%だった。地域別では北海道、東北、関東で「悪い」が80%を超えた。

一方、「低貸玉」については、調査対象店舗の35・5%が「良い」、8・4%が「悪い」と回答した。規模別では大規模事業者の45%、小、中規模事業者の30%強が「良い」だった。地域別では、中部、北陸が50%、中国、四国、九州が44%、関東、近畿が各30%前後、「良い」と答えた。

## 人材育成・教育が課題

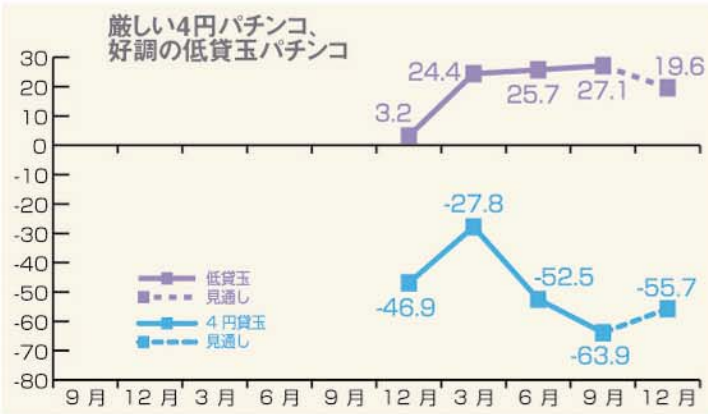
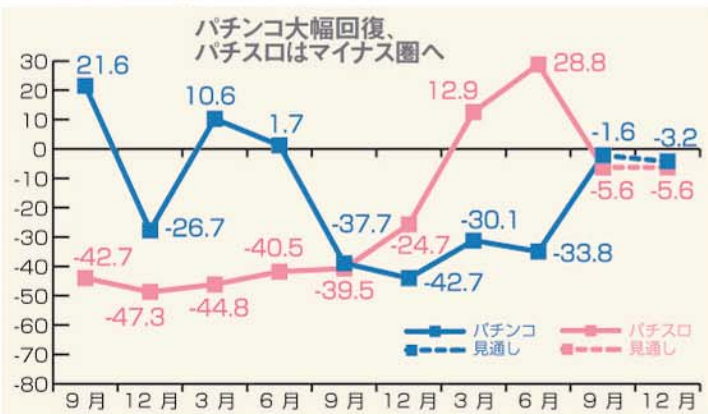
経営上の課題を尋ねたところ、「人材育成・教育」「同業他社との競争激化」「メーカーによる遊技機販売の縛り」のトップ3は変わらず、中でも「人材育成・教育」が62・6%と突出しているのが目立つ。これを事業規模別にみると、小規模事業者は「人材育成・教育」55・6%、「メーカーによる遊技機販売の縛り」53・3%、中規模事業者は「人材育成・教育」65・1%、「同業他社との競争激化」60・5%、大規模事業者は「人材育成・教育」

73・7%、「人手不足・人材確保」42・1%と、トップの「人材育成・教育」は共通だが、2位が事業規模で異なっている。また、大規模事業者では「人材育成・教育」の割合がとくに大きいことが目立つ。

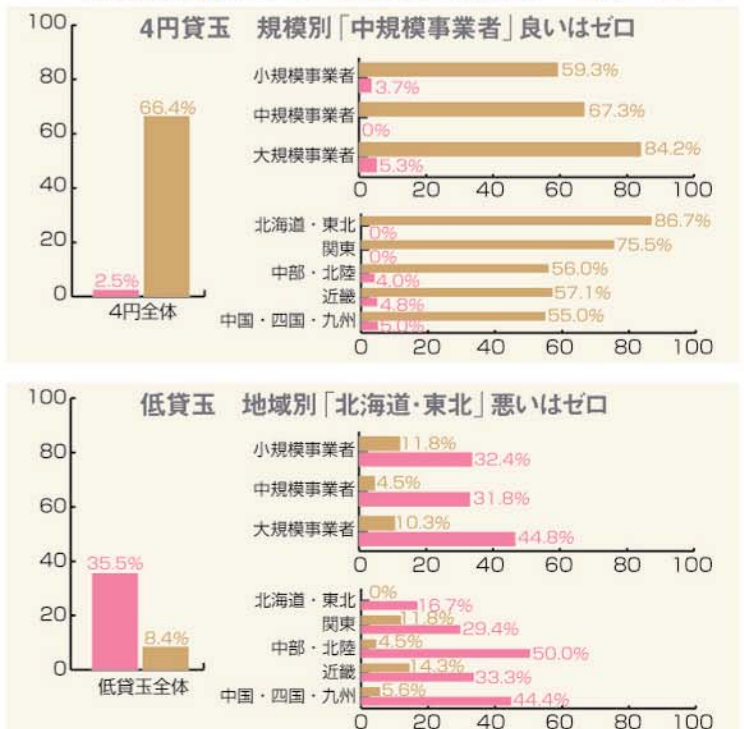
## リユース、7割強が利用

今回の調査でパチンコ・リユースシステムについて質問したところ、7割強が利用していた。利用している理由は「価格が安い」「新台効果がある」「利用しない理由は「よく知らない」「魅力的な台がない」がそれぞれ目立った。個別の意見として、「積極的に利用したい」(大規模事業者)、「客単価が落ち込むとランニングコストに加えて設備投資も再考が必要で、リユースは合理的」(中規模事業者)、「お客様視点では、リユース機は中古機として捉えたほうがよいと感じる。リユースありきの購入は危険」(同)、「システムを「新台+リユース」で考えた場合、価格に見合う作り込みがされていると思われる機種はなく、メーカーの論理をすり替えた販売促進だ」(同)、「リユースは全メーカーで対応してほしい。新台の価格が高すぎる」(小規模事業者)などがあつた。

## 稼働状況①パチンコ・パチスロ



## 稼働状況②パチンコ 4円貸玉・低貸玉



注：小規模事業者=1~3店舗 中規模事業者=4~10店舗 大規模事業者=11店舗以上

## 九州支部役員会

### 九州版「試打会」を準備 「慰問」は、大分、長崎に

九州支部役員会は11月30日、福岡市・福岡県遊技会館で開かれ、山口雅弘支部長以下15人が出席した。山口支部長は「社会貢献活動など着々、市民の皆さんに理解されてきており、さらに活動を推進していきたい。本部の各委員会は活発に動いており、そこで得る情報は非常に役に立つので、支部のみならずもたくさん委員会に参加してほしい」とあいさつした。23年の支部総会を4月19日(火)に開催することを確認し、総会行事のほかに、2・26遊技機試打会の「九州版」を検討することになった。「老人ホーム慰問事業」の第4回目は大分県、第5回目は長崎県で開催することとし、九遊連青年部、各県遊技場組合と調整することになった。九遊商もこの活動に参加の意向を示し、パチンコ台11台を支部に提供することになった。

### 中部支部セキュリティ対策部会 未確認ゴトの報告など

中部支部セキュリティ対策部会が11月30日、名古屋市中・アイリス愛知で開かれ、山口悟支部長代行以下21人が出席した。山口代行は「この部会は本部からも評価されている。不正情報の共有を強め、今後も地道に活動しよう。新たな手口に対しては、素早く対応して安全なホールにしたい」とあいさつした。CRスーパードール語IN沖繩2のゴトについて、電波による直撃ゴトで具体的な手法は明らかでなく、閉店後の目視では異常が見られなかったとの報告があり、メーカーから対策の説明があった。また糸釣玉の検証結果が発表された。ゴト情報は多く流れるようになったが、ホールで防止できない場合がかなりあることについて、いろいろな角度から話し合われた。

## 会員・業界消息

### 支店、営業所移転

▽サミー株式会社仙台支店

〒984・0012

仙台市若林区六丁の目中町2番5号

仙台支店

TEL022・390・11003

FAX022・390・11004

仙台営業所

TEL022・390・11006

FAX022・390・11007

12月6日

### 代表者変更

▽大一電機産業株式会社

代表取締役社長・村上雄三

12月1日

▽株式会社ユーコー

代表取締役・金海基泰

12月1日

### 社名変更

▽株式会社三慶(旧・株式会社北見)

札幌市中央区

北5条西16丁目1番地1

12月1日

# DATA SPOT

## 遊技機台数は固定化の傾向

全日遊連は12月22日、店舗数、遊技機台数の2010年11月分を発表した。店舗数は昨年同期より171店減とマイナスは固定化している。

遊技機では、パチンコが1万2207台増(昨年11月291万7080台)、パチスロで1万967台減(昨年11月127万4924台)とこちらも固定化してきた。昨年の11月時点では、一昨年と比較してパチンコ機で約10万台増、パチスロ機で約10万台減となって、増減の動きは大きかった。<注>店舗数および遊技機台数は、各月の末日現在の数。表中の「その他」はアレンジボール、じゃん球、スマートボールを意味する。

### 全日遊連加盟店舗数・遊技機台数

平成22年	営業店舗数	新規店舗数	廃業店舗数	休業店舗数 (当月発生分)	遊技機台数			総台数
					ぱちんこ遊技機	回胴式遊技機	※その他	
1月	11,675	22	18	105 (8)	2,935,449	1,266,083	156	4,201,688
2月	11,663	24	35	107 (14)	2,936,932	1,262,269	156	4,199,357
3月	11,616	14	54	107 (16)	2,935,356	1,256,127	156	4,191,639
4月	11,630	31	30	97 (7)	2,945,673	1,257,110	156	4,202,939
5月	11,613	18	31	105 (15)	2,944,960	1,255,851	156	4,200,967
6月	11,586	11	28	108 (21)	2,942,377	1,253,175	156	4,195,708
7月	11,571	22	44	101 (12)	2,940,635	1,253,832	156	4,194,623
8月	11,556	23	35	101 (10)	2,941,292	1,254,681	156	4,196,129
9月	11,553	26	30	94 (9)	2,938,627	1,260,324	156	4,199,107
10月	11,539	14	25	98 (13)	2,932,592	1,263,043	156	4,195,791
11月	11,518	9	24	107 (18)	2,929,087	1,263,957	156	4,193,200

## 貯玉補償基金加盟状況

	店舗数	前月比
北海道	191	0
東北	469	+7
東京	395	+4
関東	1195	+5
中部	324	+5
近畿	563	+4
中国	203	+2
四国	103	+3
九州	528	+2
全国計	3971	+32

(2010年11月30日現在)

日野博行氏(前日遊協副会長・日野二郎氏の父) 病氣療養中のごとく、12月8日死去。88歳。葬儀は12月11日、松山市築山町5・16小倉聖

苑築山ホールで執り行われた。喪主は二郎氏。日野二郎氏は(株)ファースト、(株)パツフォ代表取締役。